

健胃消化剤

HM散

HM Powder

貯法：遮光・防湿・室温保存
使用期限：容器に表示の使用期限内に使用すること。(使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用すること。)

承認番号	21000AMZ00248
薬価収載	1998年7月
販売開始	1999年5月

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 高カルシウム血症の患者
- ※2. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- ※3. 透析療法を受けている患者〔長期投与によりアルミニウム脳症、アルミニウム骨症があらわれるおそれがある。〕
- ※4. ナトリウム摂取制限を必要とする患者(高ナトリウム血症、浮腫、妊娠中毒症等)〔ナトリウムの貯留増加により症状が悪化するおそれがある。〕
- ※5. 甲状腺機能低下症又は副甲状腺機能亢進症の患者〔血中カルシウム濃度の上昇により病態に悪影響を及ぼすおそれがある。〕

【組成・性状】

組成

販売名	HM散	
成分・含量 (1.3g中)	メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	400mg
	日局 ジアスターゼ	100mg
	日局 炭酸水素ナトリウム	300mg
	日局 沈降炭酸カルシウム	200mg
	日局 チョウジ末	10mg
	日局 ウイキョウ末	20mg
	日局 ケイヒ末	74.5mg
	日局 ショウキョウ末	24.5mg
	日局 オウレン末	50mg
	日局 サンショウ末	1mg
	日局 カンゾウ末	118mg

製剤の性状

本剤は淡褐色の粉末で特異なにおいを有する。

【効能・効果】

下記消化器症状の改善

食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐

【用法・用量】

通常成人は1回1.3g、7才～14才は1/2量、4才～6才は1/3量を1日3回食後服用する。

※【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 腎不全の患者〔排泄障害により副作用が現れることがある。〕
- ※(2) 重篤な消化管潰瘍のある患者〔炭酸水素ナトリウムを配合しているため、症状が悪化するおそれがある。〕
- ※(3) 心機能障害のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- ※(4) 肺機能障害のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- ※(5) リン酸塩低下のある患者〔アルミニウムにより無機リンの吸収が阻害される。〕
- ※(6) 低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕

2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
活性型ビタミンD	高カルシウム血症が現れやすくなる。	機序は不明
テトラサイクリン系抗生物質等	これらの薬剤の吸収を阻害することがある。	機序は不明

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
※ ニューキノロン系 抗菌剤 エノキサシン、 ノルフロキサシ ン、オフロキサ シン等	これらの薬剤の効果が減弱することがあるので、同時に服用させないなど注意すること。 この作用は薬剤の服用時間をずらすことにより弱まるとの報告がある。	機序は不明
※ 大量の牛乳・カルシウム製剤	Milk-alkali syndrome (高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等)があらわれるおそれがあるので、観察を十分に行い、症状が発現した場合には投与を中止すること。	機序は不明
※ その他の併用薬剤	併用薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。この作用は薬剤の服用時間をずらすことにより弱まるとの報告がある。	機序は不明

3. 副作用

本剤は副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類	頻度	頻度不明
長期・大量投与		腎結石、尿路結石
代謝異常		長期投与により高マグネシウム血症
消化器		便秘
過敏症 ^(注)		発疹等

注)このような場合は投与を中止すること。

4. その他の注意

カンゾウを配合するため、長期連用により低カリウム血症、血圧上昇、体重増加、浮腫等が現れることがある。

【薬効薬理】

本剤には消化酵素ジアスターゼ、制酸剤などのほか次のような生薬粉末が配合されている。

チョウジ、ウイキョウ、ショウキョウ、サンショウ、ケイヒ いずれも芳香性健胃薬として食欲不振、消化不良に用いられる。

オウレン 主成分はベルベリンで止瀉薬及び苦味健胃薬。

カンゾウ 主成分はグリチルリチン酸で、漢方での処方頻度は高い。消化器系では健胃消化薬、止瀉整腸薬として用いる。

【包装】

500g、1kg、1.3g×1200包

【文献請求先】

小西製薬株式会社

〒579-8012 東大阪市上石切町2丁目1309

製造発売元

小西製薬株式会社
東大阪市上石切町2丁目1309